

# 事業報告書

## 1. 一般概況

### (1) とうもろこしの国際需給の動向

2016/17年度の生産量は、中国、カナダ等で減少したが、米国、南米等の作付け増加により、世界全体では前年度比9.1%増の10億4,924万トンと見込まれている。消費量は、世界全体では、対前年度比8.2%増の10億3,943万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は、対前年比4.7%増の2億2,068万トンで、期末在庫率は、前年度を0.7ポイント下回る21.2%と見込まれている。

米国産とうもろこしの生産量は、中西部において、6月に入り高温乾燥による作柄悪化懸念があったが、その後、好天に恵まれ、4年連続の豊作となった。作付面積は、対前年度比6.8%増の3,804万haと増加し、単収も過去最高となる10.96トン/haとなり、生産量は、史上最高の3億8,477万トンと見込まれている（対前年度比11.4%増）。需要量は、飼料向け需要、輸出等において増加し、対前年度比7.0%増の3億7,136万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は、対前年度比33.6%増の5,893万トン、期末在庫率は15.9%と見込まれている。

### (2) 国内の配合飼料生産の動向

平成27年度の配合飼料生産量は2,312万トン、対前年度比100.6%となっており、養鶏用（100.6%）、養豚用（101.0%）、乳牛用（100.1%）及び肉牛用（100.7%）といずれの畜種も増加した。

平成28年度4月～12月の配合飼料生産量は1,747万トン、対前年同期比100.4%となっており、畜種別の内訳では、養鶏用（100.1%）、乳牛用（100.6%）、肉牛用（101.8%）と微増したが、養豚用（99.9%）は微減した。

### (3) 価格の動向

#### ① とうもろこしのシカゴ相場

とうもろこしのシカゴ相場については、4月に入りブラジル産の早魃による減産見通しから上昇し、5月発表の需給見通しで、輸出および国内需要が上方修正され期末在庫が減少したことから、420セント/ブッシェル台で推移した。6月に入り、米国産地での高温乾燥による作柄悪化懸念などから上昇し、一時440セント/ブッシェルを越える水準となった。その後、天候が回復し、8月の需給見通しで、史上最高の生産量見通しとなったことなどから、320セント/ブッシェル台で推移したが、降雨による収穫作業の遅れなどから350セント/ブッシェル台まで上昇した。11月の需給見通しでは、単収が上方修正され、史上最高の生産量が確定的となったものの、輸出需要が好調なことから340セント/ブッシェル台で推移した。その後、エタノール生産量の増加、ドル高、好調な輸出等を追い風に387セント/ブッシェルまで値を上げたが、利益確定などにより、3月現在、360セント/ブッシェル台で推移している。

#### ② フレート

米国ガルフ/日本間の海上運賃は、上半期は、原油価格の下落、中国むけ石炭の輸送需要が低調等により、25ドル/トンから30ドル/トン前後で推移していたが、下半期にかけて、北米産新穀の輸送需要の本格化、原油価格の上昇等により上昇し、現在は35ドル/トン前後で推移している。

③ 為替レート

外国為替は、3月下旬には113円前後であったが、6月に発表された米雇用統計が予想を下回り、利上げ観測が後退したことから107円前後まで円高ドル安が進行した。さらに英国のEU離脱決定により世界経済への先行き不透明感が高まったことなどから、100円前後まで円高ドル安が進行した。その後、米国経済指標の改善を受けた12月の利上げ期待の高まりから円安となり、米大統領選でトランプ候補が勝利し、インフラ投資や大型減税などの経済政策に対する期待が高まったことから、更に円安が進み、現在は114円前後で推移している。

④ 配合飼料価格

配合飼料価格については、平成28年度第1四半期は、世界的な豊作、南米産へのシフト、円高の影響などによりシカゴ相場が下落したことから、前四半期に対し、引き下げられた。

第2四半期は、米国中西部の高温乾燥の天気予報、南米産とうもろこし及び大豆の減産懸念、投機筋の流入によりシカゴ定期が急騰したことから、前四半期に対し引き上げられた。

第3四半期は、予報に反し、米国が天候に恵まれ、4年連続の豊作見込みとなったことから、とうもろこし、大豆のシカゴ定期が下落し、前四半期に対し引き下げられた。

第4四半期は、とうもろこしについては、米国、南米ともに豊作となったが、シカゴ相場は材料の出尽くしから、8月を底として9月以降、一段高い相場で推移した。大豆は、中国の旺盛な需要から反発傾向となっている。為替が米大統領選でトランプ候補が勝利し、予想と反し急激な円安ドル高の展開となったことなどから、前四半期に対し引き上げられた。

2. 入会預り金の状況

平成28年度においては、会員及び会員からの入会預り金に異動はなかった。平成29年3月31日現在の入会預り金の状況は、次のとおりである。

会 員 別	入会預り金口数	入会預り金額
	口	千円
(独)農畜産業振興機構	8,000	800,000
(一社)全国配合飼料供給安定基金	1,268	126,800
(一社)全国畜産配合飼料価格安定金	113	11,300
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	1,613	161,300
全国農業協同組合連合会	798	79,800
全国酪農業協同組合連合会	39	3,900
全国畜産農業協同組合連合会	1	100
全国開拓農業協同組合連合会	1	100
日本養鶏農業協同組合連合会	1	100
(協)日本飼料工業会	1,166	116,600
計 10 団 体	13,000	1,300,000

### 3. 業務運営

#### (1) 配合飼料価格安定対策事業（公益目的事業1）

##### ① 交付契約数量

平成28年度の各契約基金との異常補填交付金交付契約数量は、23,394,247トンであり、基金別では、全国配合飼料供給安定基金6,665,895トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,322,912トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金15,405,440トンであった。

なお、9月に各基金間移動に伴う交付契約数量の変更を行った結果、全国配合飼料供給安定基金6,668,311トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,320,645トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金15,405,290トンとなり、総交付契約数量は23,394,246トンとなった。

##### ② 異常補填交付金交付事業

平成28年度においては、補填の発動はなく、異常補填交付金の交付はなかった。

##### ③ 貸付事業貸付金の償還

平成26年度に市中銀行の借入金が完済されたことを踏まえ、「公益社団法人配合飼料供給安定機構貸付事業に関する業務方法書」に基づく3基金への貸付金333億円について、3基金が、平成27年度において145億円の償還を行い、平成28年度においても同業務方法書第15条第1項の規定に基づき187億円の償還を行った。この償還により、貸付事業貸付金は完済された。

基金別償還等内訳は次のとおり。

(単位：千円)

区 分	27年度末 貸付金残高	28年度 貸付償還額	28年度末 貸付金残額
全国配合飼料供給安定基金	4,560,140	4,560,140	0
全国畜産配合飼料価格安定基金	1,173,420	1,173,420	0
全日本配合飼料価格畜産安定基金	13,008,420	13,008,420	0
合計	18,741,980	18,741,980	0

#### (2) 飼料穀物備蓄対策事業

##### ① 備蓄穀物60万トンの売渡し（荷渡指図書）の交付

平成27年度において、備蓄穀物60万トン売却に伴う入札を実施し、全量売却を行った。

なお、平成27年度飼料穀物備蓄事業実施として60万トンを保管するため、荷渡指図書は平成28年4月1日付けで施行した。

##### ② 備蓄穀物売却に伴う売却益及び備蓄基金残高の国庫返還

備蓄穀物売却に伴う売却益789,080,880円を計上し、平成28年6月10日付けで全額国庫へ返還した。また、平成28年度末の備蓄基金残高4,128,486円を平成28年6月10日付けで全額国庫へ返還した。

### (3) 調査事業（公益目的事業2）

本事業については、飼料製造工場を対象に、飼料生産・出荷・在庫動向、工場渡価格、原料使用量、都道府県別生産量、都道府県別出荷先別出荷量等を毎月調査するとともに、飼料穀物の国際需給、価格、フレート等配合飼料に関連するデータを取りまとめ、「飼料月報」として毎月発行した。

## 4. 会議の開催

### (1) 総会

- |            |  |
|------------|--|
| ① 第42回定時総会 | 平成28年6月21日開催                           |
| 第1号議案      | 業務方法書の一部変更について                         |
| 報告事項       | 平成27年度事業報告及び決算について                     |
| ② 臨時総会     | 平成29年2月1日開催                            |
| 第1号議案      | 業務方法書の一部変更について                         |
| ③ 臨時総会     | 平成29年3月22日開催                           |
| 第1号議案      | 理事の報酬総額及び監事の報酬総額について                   |
| 報告事項       | 平成29年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて |

### (2) 理事会

- |            |  |
|------------|--|
| ① 第255回理事会 | 平成28年6月8日開催                            |
| 第1号議案      | 平成27年度事業報告及び決算について                     |
| 第2号議案      | 業務方法書の一部変更について                         |
| 第3号議案      | 第42回定時総会の招集及び付議事項について                  |
| 第4号議案      | 飼料穀物備蓄対策事業実施細則の削除について                  |
| ② 第256回理事会 | 平成28年9月21日開催                           |
| 第1号議案      | 配合飼料異常補填交付金契約の数量変更について                 |
| 報告事項       | 平成28年度上期職務執行状況報告について                   |
| ③ 第257回理事会 | 平成29年1月18日開催（書面）                       |
| 第1号議案      | 業務方法書の一部変更について                         |
| 第2号議案      | 臨時総会の招集及び付議事項について                      |
| ④ 第258回理事会 | 平成29年3月6日開催                            |
| 第1号議案      | 平成29年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて |
| 第2号議案      | 理事の報酬総額及び監事の報酬総額について                   |
| 第3号議案      | 会計監査人の報酬について                           |
| 第4号議案      | 臨時総会の招集及び付議事項について                      |
| 報告事項       | 平成28年度下期職務執行状況報告について                   |

### (3) 運営委員会

機構業務の円滑な運営及び推進を図るため、4回の運営委員会を開催した。

## 5. 役員の異動

平成28年度において、役員に異動はなかった。

## 6. 事業報告の内容を補足する重要な事項

平成 28 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

< (参考) 主要業務処理事項 >

年月日	業 務 内 容
28. 4. 1	備蓄穀物 600,000 トン売渡しに係る荷渡指図書を交付した。 備蓄穀物売却益 789,080 千円を計上した。
4. 12~14	文野公認会計士により、平成 27 年度の決算に対する監査を受けた。
4. 20	監事村尾誠、鈴木諭により、平成 27 年度の決算に対する監査を受けた。
4. 26	農林水産省生産局長より、平成 28 年度配合飼料価格安定対策事業における異常補填積立金の額の決定通知を受けた。 生産局長が別に定める額 5,000,000 千円
5. 30	農林水産大臣より、備蓄穀物の売渡しに伴う売却益等の返還通知を受けた。
6. 7	運営委員会を開催した。
6. 8	第 255 回理事会を開催した。
6. 10	備蓄穀物売却益 789,080 千円、備蓄基金残高 4,128 千円を国庫返還した。
6. 21	第 42 回定時総会を開催した。
9. 16	運営委員会を開催した。
9. 21	第 256 回理事会を開催した。
9. 30	平成 28 年度配合飼料異常補填交付金交付契約の数量変更の承認を受けた。
9. 30	3 契約基金から、平成 28 年度異常補填積立金の上期分として 2,452,173 千円が納付された。
12. 13	文野公認会計士により、平成 28 年度の決算に対する中間監査を受けた。
29. 1. 17	運営委員会を開催した。
1. 18	第 257 回理事会を開催した。(書面)
2. 1	臨時総会を開催した。
3. 1	運営委員会を開催した。
3. 6	第 258 回理事会を開催した。

年月日	業 務 内 容
3. 15	3 契約基金から、貸付事業貸付金 18,741,980 千円の償還を受けた。 貸付事業貸付金は完済された。
3. 16～17	文野公認会計士により、平成 28 年度の決算に対する期末監査を受けた。
3. 22	臨時総会を開催した。
3. 31	3 契約基金から、平成 28 年度異常補填積立金の下期分として 2,547,827 千円が納付された。

## 会 員 名 簿

平成 29 年 3 月 31 日現在

会 員 名	代 表 者 氏 名	住 所
(独)農 畜 産 業 振 興 機 構	理 事 長 宮 坂 亘	東京都港区麻布台 2-2-1
(一社)全国配合飼料供給安定基金	理 事 長 中 出 篤 伸	東京都千代田区内神田 1-4-1
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	理 事 長 砂 金 甚 太 郎	東京都港区芝 4-17-5
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	理 事 長 鹿 間 千 尋	東京都港区麻布台 2-2-1
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会	経 営 管 理 中 野 吉 實 委 員 会 会 長	東京都千代田区大手町 1-3-1
全 国 酪 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代 表 理 事 砂 金 甚 太 郎 会 長	東京都港区芝 4-17-5
全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代 表 理 事 加 藤 義 康 会 長	東京都中央区新川 2-6-16
全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代 表 理 事 平 木 勇 会 長	東京都港区赤坂 1-9-13
日 本 養 鶏 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代 表 理 事 中 林 政 義 会 長	東京都千代田区神田須田町 1-7
(協)日 本 飼 料 工 業 会	会 長 鹿 間 千 尋	東京都港区麻布台 2-2-1

## 役 員 名 簿

平成 29 年 3 月 31 日現在

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	澤 井 義 雄	(公社)配合飼料供給安定機構
専 務 理 事	進 藤 眞 理	(公社)配合飼料供給安定機構
理 事	小 原 良 教	全国農業協同組合連合会 常務理事
理 事	砂 金 甚 太 郎	全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	中 林 政 義	日本養鶏農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	鹿 間 千 尋	(協)日本飼料工業会 会長
監 事	村 尾 誠	日本食肉流通センター卸売事業協同組合 専務理事
監 事	鈴 木 諭	(協)日本飼料工業会 経 理 部 長 兼 関 東 事 務 所 長



## 運 営 委 員 名 簿

平成 29 年 3 月 31 日現在

区 分	氏 名	所 属 職 名
基金業務関係	藤 本 啓一郎	(一社) 全国配合飼料供給安定基金 常務理事
〃	檜 岡 義 樹	(一社) 全国畜産配合飼料価格安定基金 専務理事
〃	引 地 和 明	(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金 常務理事
〃	神 谷 誠 治	全国農業協同組合連合会 畜産生産部次長
〃	岡 田 征 雄	全国酪農業協同組合連合会 購買部長
〃	露 崎 正二郎	全国畜産農業協同組合連合会 事業部長
〃	臼 井 靖 彦	全国開拓農業協同組合連合会 事業推進部長
〃	桐 林 鋼 治	日本養鶏農業協同組合連合会 参事
〃	平 野 昭	(協) 日本飼料工業会 専務理事